

## 平成24年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材による事故）

### 事故概要：

現場内の資材置き場において、作業員が一人で角パイプの仕分け作業中に上部の角パイプが左手の上に崩れ落ち、挟まれた時、手を引き抜こうとした際に負傷した。

### 事故原因：

- ・被災者は業務経験が浅く安全作業の理解度が低かった
- ・作業員の不注意

### 改善対策：

- ・新入社員には特に作業内容・注意点を詳しく説明し、理解度を確認する。
- ・資材の整理方法の見直し



事故イメージ(実際は左手)



角パイプ(6×6cm)

分類：準備工、資材取扱

被害状況：10日間の外来加療(左中指、環指圧挫裂創)

## 平成27年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材による事故）

### 事故概要:

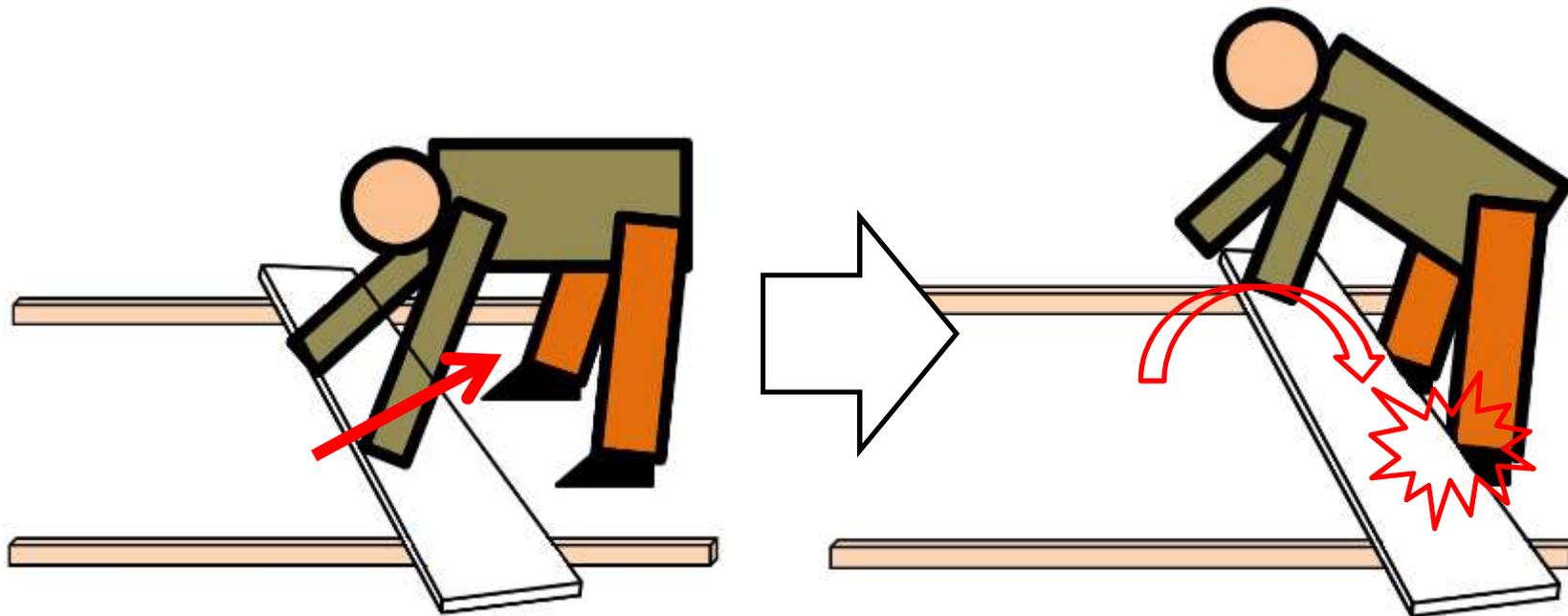
作業員がプレハブ水路のパネル(1495\*300\*50 52kg/枚)を裏返してパネルの向きを揃えようとパネルを起こそうとした際、慎重に行っていなかったため、パネルが勢い余って倒れ、作業員の左足甲に当たり負傷した

### 事故原因:

・単純作業で慣れもあったため、慎重にパネルを起こさなかった

### 改善対策:

・安全教育の徹底



分類: 準備工、資材取扱

被害状況: 約1週間の加療(左足背部打撲)

## 令和3年度に建設工事で発生した事故事例（交通事故）

### 【事故概要】

片側通行規制により車線を規制して橋梁下部工に足場設置作業を行う現場にて。木製足場板を現場に搬入するため、トラック(4tユニック)荷台から木製足場板を路肩側に手卸していたが、荷台上の作業員が手元を誤り上り車線に木製足場板がはみ出した時、走行してきたバスに接触し損傷させた。

### 【事故原因】

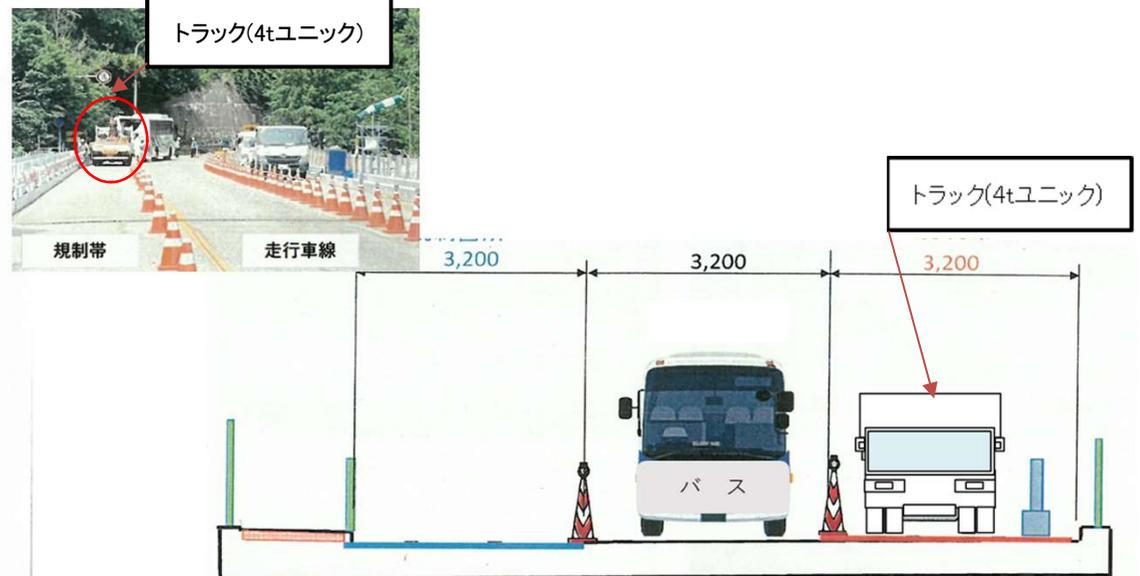
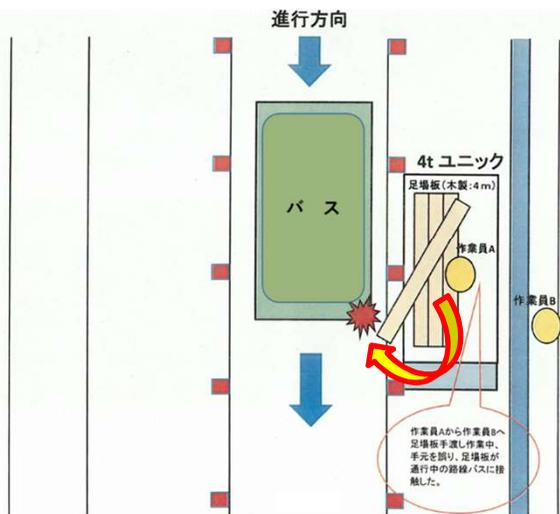
- ・事故発生日の安全管理措置においては、長尺物のはみ出しに関する危険性を予見していたものの、具体的な作業方法を定めることなく作業員への注意喚起のみで、防止対策が講じられていなかった。
- ・作業員は、車両が接近しているにも関わらず長尺の資材を扱ったこと、また、作業員が規制範囲外への資材のはみ出しに対する注意を怠った。

### 【改善対策】

- ・規制範囲内で長尺資材を扱う際には、交通整理員を配置し、一般車両の接近を作業員に伝え、車両が通過する間は、作業を中断し、車両通過後に作業を再開することとした。
- ・トラック荷台への長尺資材の取扱作業には一人で作業を行わない。
- ・トラック荷台上での作業時の資材のはみ出し防止対策として、トラック荷台側面にクランプ、単管パイプ、ネットを用い仮設の防護柵を設置する

事故現場状況写真2

事故現場状況写真1



【分類】 準備工、資材取り扱い

【被害状況】 公衆災害 物損 バス1台(左フロントガラス、左側面損傷)

## 令和4年度に建設工事で発生した事故事例（墜落・転落事故）

### 【事故概要】

撤収のため、セミトレー荷台に現場屋根成型機と吊治具を積載後、緩衝材（木製10\*10\*2000）の位置を修正しようと荷台の上で掴んだところ、固定されていないため抜け、1.3m転落負傷した。

### 【事故原因】

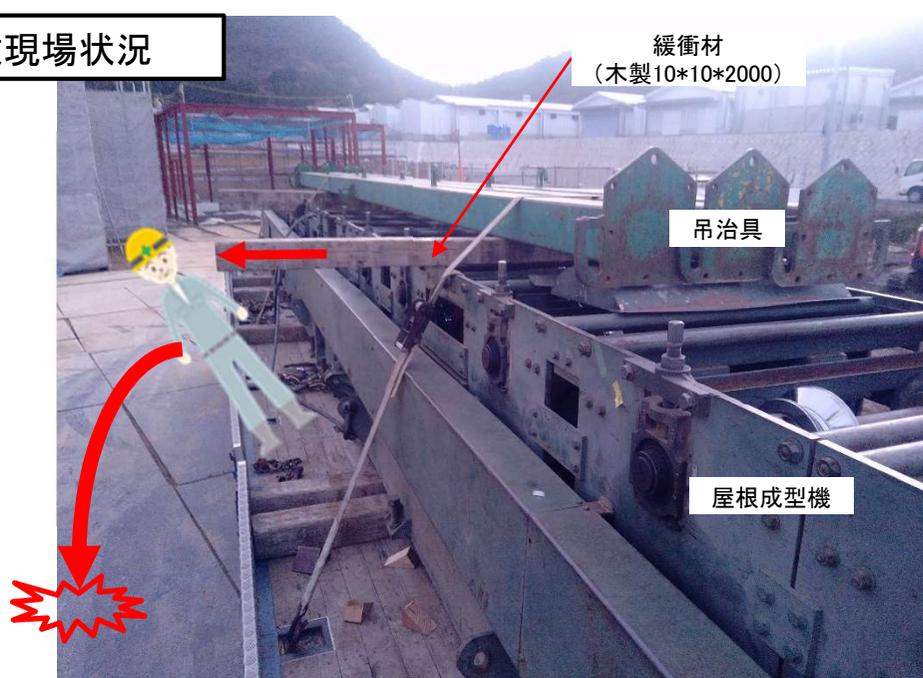
- ・緩衝材は挟まれており、大きく動かないと思い込んでいた。
- ・荷台には一人立つのがぎりぎりのスペースしか確保できないが、慣れた作業で高さも1.3mとそれほど高所ではないため、危険という認識が希薄だった。
- ・撤収作業であり、早く終了させたい思いもあり、安全確認をしないまま作業を行った。

### 【改善対策】

- ・荷台作業時はあおり支柱と親綱、昇降ステップ使用を徹底する。
- ・作業前に施工業者職長と共に現場確認し、巡視を強化する。
- ・不適切な状況で作業開始しないための注意喚起や現場での再教育を実施する。
- ・荷台作業注意安全看板の増設



### 事故現場状況



【分類】準備工 資材取扱

【被害状況】 業者人身 33歳 肋骨骨折 気胸 血胸